

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立東小橋小

学校

児童数

12

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.67	20.67	31.83	42.33	57.67	9.34	152.50	24.67	55.20
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	13.50	21.50	40.67	40.83	55.50	9.23	158.83	16.33	60.17
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

結果の平均値を見ると男女とも握力および男子は長座体前屈が下回るものの、その他の種目に関しては全国平均を上回り、中でも20mシャトルランはより大きく上回っている。そのため、体力合計点は男子・女子ともに大阪市及び全国を上回っている結果となった。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」に対し、男子100% 女子83.3%であった。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は0%であった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体力合計点が全国平均を上回り、とりわけ20mシャトルランも大きく上回った結果が出た要因は、休み時間にほぼすべての児童が外で遊んでいるという実態があるからだと考える。体を動かして遊ぶことが好きで、おにごっこ等長い距離を走ったり、無酸素運動で体を動かすことも多いことが要因の1つだと思われる。このことは当該の5年生だけでなく、他学年でも見られる。

また、小学校学力経年調査児童質問紙「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。」に対しても、最も肯定的な回答の割合が80%以上となっている。これらの要因として、校内で充実した体育科の研修が多数行われているため、教員の体育の授業力向上の結果、授業が充実し、児童の肯定的回答につながっていると分析する。

今後も現状の校内研修体制を維持し、授業の充実を図ることで、日常的に運動をすることを好きになる児童はより増えていくだろう。また、今回下回った握力については体育部を中心に方策を考えていきたい。